

《Lesson 4》 比べる 2 つの形を合わせる

比較級の文同様、

比べるものに「代名詞」が登場する場合は比べる2つのものの形

(主語 + be 動詞、主語 + 一般動詞、主語 + 助動詞) をそろえるというところに注意する必要があります。

<例1>

She is as tall as he (is) .

(彼女は彼と同じぐらい背が高いです)

【解説】

主語の she が she is と「主語 + be 動詞」の形なので比べる he も he is と「主語 + be 動詞」の形にする。ただし、“he”の後の“is”を省略することは可。

1. She is as tall as he (is). = ○

(be 動詞の省略は可。ただし省略すると不自然と捉えるネイティブもいる)

2. She is as tall as him. = △ (会話ではよく使われるが文法上は△)

3. She is as tall as he does. = ×

<例2>

Kevin swims as fast as we (do) .

(ケ빈は私たちと同じぐらいはやく泳ぎます)

【解説】

主語の Kevin が Kevin eats と「主語 + 一般動詞」の形なので比べる we も we do と「主語 + 一般動詞」と形をそろえる (形をそろえるといっても we swim にはならないので注意)。ただし、we の後の do を省略することは可。

1. Kevin swims as fast as we (do). = ○

(do を省略することは可。ただし省略すると不自然と捉えるネイティブもいる)

2. Kevin swims as fast as us. = △ (会話ではよく使われるが文法上は△)

3. Kevin swims as fast as we are. = ×

<例3>

Daiki can play soccer as well as they (can).

(ダイキは彼らと同じぐらい上手にサッカーができます)

【解説】

主語の Daiki が Daiki can と「主語＋助動詞」の形なので比べる they も they can と「主語＋助動詞」の形にする。they の後の can を省略することは可。

1. Daiki can play soccer as well as they (can). = ○

(助動詞を省略することは可。ただし省略すると不自然と捉えるネイティブもいる)

2. Daiki can play soccer as well as them. = △ (会話ではよく使われるが文法上は△)

3. Daiki can play soccer as well as they are. = ×

ポイント！ 比べる2つの形をそろえなくてもよい場合

比較級同様、比べる2つを必ずしもそろえる必要はありません。ポイントは「いったい何を意図しているのか？」というところです。例えば、以下の2つの例。

(1) You should practice as much as she does.

(あなたは彼女が練習している量と同じぐらい練習するべきです)

=彼女が日頃から練習している量と同じ量だけ、あなたも練習するべき

(2) You should practice as much as she should.

(あなたは彼女が練習するべき量と同じぐらい練習するべきです)

=彼女には練習するべき量があり、それと同じ量だけあなたも練習するべき

(1) のように、as ~ as の前後で意図することが異なる場合、前の形 (you should) と後ろの形 (she does) が異なることがあります。このように「比べる形を必ずそろえないといけない」わけではないので覚えておきましょう。

ポイント！ 代名詞以外の場合は、比べる2つをそろえる必要はない

比較級の時と同様「代名詞以外の場合は、もうすでにbe 動詞、一般動詞、助動詞を省略した形になっている」と考えられるため、基本的に比べる2つをそろえる必要はないです。

1. She is as tall as John (is).

2. Kevin swims as fast as his brother (does).

3. Daiki can play soccer as well as Ken (can).

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。